

WITH

Arisawa Communication Magazine

Vol.24
2021 December

ARISAWAの
今を伝える情報誌



WITH

Vol.24 2021 December

発行日/2021年12月1日

発行/有澤建設株式会社

福岡市博多区博多駅南4-4-12

Voice of the top



パラダイムシフトとは社会の規範や価値観が変わることです。大きなパラダイムシフトは、18世紀に起こった産業革命や、近年ではネット環境の普及とスマートフォンの登場とされています。コロナ禍の現在、社会の規範や価値観は大きく変わり、今はまさしくパラダイムシフトの渦中と言えるでしょう。安倍政権のころから「働き方改革」は進められてきましたが、コロナ禍による改革の波が押し寄せることにより、否が応でもテレワークに対応しなければならない状況下で、急激に「Zoom」などのオンラインコミュニケーションが普及しました。以前はなかなか会うことのない県外の人と、オンラインでの打合せが増え、コロナ前だと知り得なかった情報も手短に得ることができると感じています。昨年からは地元高校生の現場見学を受入れています。テレワーク授業を行ってきた生徒たちに聞くと、対面授業よりテレワークのままで良いと答えた生徒が半分もいました。このことから、学校生活の中で顔を突き合わせるのが当たり前だった従来の方法から、オンラインコミュニケーションでも仲間とのつながりを感じることができる価値観が生まれてきていると感じます。

大きく変化する社会の規範や価値観に合わせるための方法として欠かせないのが、デジタル技術で生活やビジネスが変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)であり、コロナ禍で政府機関や企業内でも急速に推し進められています。IT化が遅れているとされる建設業でも、国土交通省によるDX推奨もあり、土木工事を中心に普及し始めています。中小建設業にもここ数年で変化の波が来ると考えられ、当社でも現場はもちろん本社機能のDXに向け動き出しております。

しかし、私は時代の変化に合わせるためだけにDXを取り入れるべきではないと考えます。DXが目的になると、そもそも変化を嫌う建設業界の中で、導入したはいいが活用されず消えていくシステムが増えることが目に見えます。「10年後、100年後どうありたいのか」という会社の在り方をまずしっかり意識し、そこに向かって変化することが重要です。パラダイムシフトの渦中だからこそ、闇雲に変化だけを追うのではなく、会社が向かう方向(目的)に沿った変化を選択しつづけることが、次の100年に続く道だと思います。

代表取締役 木下 英資



【スペシャル対談】



相光石油株式会社
代表取締役
寺田 光一郎氏

有澤建設株式会社
代表取締役
木下 英資

30年後もお客さまに選ばれ続ける空間づくりを。
収納にこだわったロフト付き1Rマンションが完成。

WHITE SQUARE TAKAMIYA



福岡市南区高宮に完成した「ホワイトスクエア高宮」。竣工を迎え、オーナーである相光石油株式会社代表取締役、寺田氏と有澤建設の代表取締役、木下氏がプロジェクトやコロナ禍での互いの事業経営について語り合いました。

木下 「ホワイトスクエア高宮」の竣工おめでとございます。

相光石油株式会社寺田氏（以下寺田） ありがとうございます。素晴らしい仕上がりで満足しています。お陰さまで入居の募集後わずか1ヶ月で満室となりました。

木下 何よりです。ところで、今回のプロジェクトはどのような経緯でスタートしたんですか。

寺田 土地は私の母が所有していたのですが、長年放置したままになっておりました。駅からも近く好立地だったので、いつかは賃貸物件を建て、有効活用している風景を母に見せたいと思っていたんです。

木下 寺田社長は設計のコンセプトにも関わら

れたそうですね。

寺田 はい。新築当時はそれなりに入居があってもそれを20年、30年と入居率を安定させていくことは至難の技です。今回の物件は、築年数が経ってもライバルの多いエリアで競争力を維持できるものを目指したので、お客さまにとっての魅力を作り出さなければと考えていました。

木下 それが、ロフトのアイデアですね。

寺田 そうです。今回は1Rの間取りがメインだったので、いかに収納スペースを提供できるかがポイントになると思っていました。ロフトだけでなく、ロフトにかかる階段に収納を持たせたのもこだわった点です。

木下 そうしたアイデアはどこから着想を得るんですか？

寺田 今回の収納アイデアは家族からです。以前、息子が32平米の部屋のあるマンションに住んでいたことがあったんですが、収納スペースが足りずとても住みにくかったという失敗談がありました。反対に、たとえば広々とした部屋でなく

も、収納力があれば築年数が経っても勝負できる物件になる。そんな思いを持っていました。

木下 賃貸物件を運用されるオーナーの目線と、入居される方の目線で、どんな部屋がいいかを追求されたことが、奏功したのではないのでしょうか。

寺田 一因としてあるかもしれませんが、アイデアだけで建物は完成しません。ホワイトスクエア高宮は、有澤建設さんの支えがあってこそ。特に現場監督の明智さんには、既製品をうまく活用して予算内で収納設備を充実させるなど、こちらの要望を一つひとつ形にしてくださいました。

木下 竣工後も補修やメンテナンスで物件の価値を高めていけるようサポートして参ります。

変化を力にエネルギー事業のDX化を大きく推進

木下 ところで、御社は不動産事業以外にもエネルギー事業を展開されています。昨今のコロナ

禍で事業にはどのような影響がありましたか？

寺田 石油事業、ガス事業では共に現場での感染対策の徹底が求められました。我々の仕事は、ガソリンスタンドのスタッフ、LPガスの営業や配送スタッフがお客さまと接する機会も多くあります。世の中のエネルギーインフラを支えるという重大な役割があります。コロナ禍では全社員がその責任を自覚し、店舗や自身の消毒に加え、お客さまと非接触でのサービスの創出など一丸となって感染対策に取り組みました。現場では苦勞も多かったと思いますが、新しい変化も生まれました。例えば、ガソリンスタンドでは少人数での業務効率を上げるため、以前は屋内にてモニターを見ながら行っていた給油の許可を、腕にモバイル端末をつけたスタンド内のスタッフがお客さまの安全を自視で確認して直接、給油許可を出せるシステムを他社に先駆けて確立し、現在全店舗で実施しています。また、ガス事業でも、これまでお客さまと直接対面して行っていたガスの開栓などを、非接触型の通信で対応できるモデルの検討をスタートしまし

た。実現には課題も多く行政との協議が必要ですが、前向きに取り組んでいくつもりです。引き続き現場での感染対策は徹底していかなくては

いけません。コロナ禍で生まれた変化を事業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化に生かせることは前向きにとらえています。

木下 私はこのコロナ禍によって今後、様々な種で産業革命のような革新が生まれるのではないかと考えています。この変化に乗り遅れず、個人個人で会社を変革できるかは私の責任です。個人的にはテレワークのさらなる推進や少人数での現場管理、本社機能の分散化など大胆なチャレンジに取り組んでいくつもりです。

寺田 我々の事業も、カーボンニュートラルの時代を迎え、業態そのものあり方が大きく変わっていくはず。しかし、一つひとつの変化にきちんと対応し、その変化を力にしながら、エネルギー事業を展開していきたいと思っています。

木下 福岡の地場企業として共に前進していきましょう。



建物概要 | ◎ホワイトスクエア高宮

用途：共同住宅 構造：鉄筋コンクリート造
竣工年：2021年 規模：地上3階
建築地：福岡市南区

▶相光石油株式会社様のご紹介

昭和25年の創業以来、サービスステーションの運営を核に、電力・産業用エネルギーの販売、石油の貯蔵・輸送業を展開。相光グループのサービスステーションは九州・山口一円130カ所に広がる。

<https://www.aiko-sekiyu.co.jp>



福岡の新たな観光シンボルを目指す春吉橋袂に老舗「平助筆復古堂」の新社屋が完成

平助筆復古堂ビル

創業1501年、博多の地で500年以上に渡り筆や文具などの商いを営んできた老舗「平助筆復古堂」。その新社屋「平助筆復古堂ビル」が2021年3月、福岡市中央区春吉に誕生した。地上6階建て、全面ガラス張りのビルは、4階に店舗と事務所を設け、他の階はそれぞれテナントフロアとして設計。天神と博多を結ぶ新たな空間へ整備が進む春吉橋の袂に、白とスケルトンの外観が目を引き新たなランドマークが加わった。

新社屋の計画が動き出したのは2014年。老朽化した春吉橋の架け替え事業に伴い、現在の春吉に構えていた店舗が区画整理の対象になったことがきっかけだった。新社屋のプロジェクトを担ったのは、株式会社平助筆復古堂



左から(株)平助筆復古堂 代表取締役社長 河原田 明氏、取締役 河原田 浩氏

取締役、河原田浩氏。河原田氏は新しく生まれ変わる店舗のコンセプトを探るために東京や京都を視察。同業老舗の社屋や店舗のデザイン、その土地ならではの景勝地などを熱心に見て回った。「印象に残ったのは京都の鴨川の景観です。道行く人が美しい河川のほとりで憩う風景を、那珂川の未来に重ね合わせました(河原田氏)」。実は那珂川に架かる春吉橋周辺は、「春吉賑わい空間」事業として現在、河川の整備が進められており、将来観光客の回遊性を高める要所として期待を集めるエリア。河原田氏は、街づくりを担うシンボリックな場所である街の発展に少しでも貢献できればとの思いを新社屋に託した。

建物のコンセプトが固まると、次はいよいよ建設会社取締役に。コンペを実施した結果、有澤建設が新社屋の建設を受注した。「決め手は、これまでの実績に裏付けられた技術や信頼感はもちろんですが、工事期間中の近隣の方々への配慮や対応への姿勢です。私どもが室町時代から現在まで商売を続けて来られたのは、ひとえに地域の方々の支えがあつてこそ。弊社が創業以来大切にしてきた地域のつながりを、有澤建設さんにも現場で大切にされていたことを高く評価しました。(河原田氏)」。

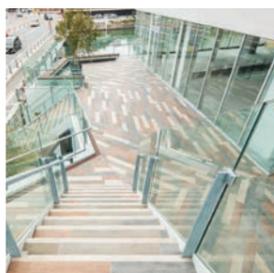
着工から10ヶ月、新社屋は2021年3月、無事に竣工。同年5月には平助筆復古堂の新店舗がオープンし、テナントに入った飲食店と共に多くのお客さまを迎えた。「新社屋が完成して近隣の方にご挨拶へ伺うと『いいビルが建ちましたね』『工事期間中は掃除が行き届いていました』などお褒めの言葉をいただくことが多く、有澤建設さんにお任せして本当に良かったと実感しました。(河原田氏)」。新しい店舗では書道教室も開講。書道日本画や水墨画愛好家、子育てを終えた主婦、グラフィックデザイナーまで様々な人たちが書に取り組み、筆で表現する楽しさを学んでいるそう。コロナの感染拡大が落ち着き、再び福岡の街に国内外から多くの観光客が訪れるとき、憩いの場としてだけでなく、日本の筆文化を発信する場としての平助筆復古堂ビルの役割は大きい。

建物概要

◎平助筆復古堂ビル

用途：店舗・事務所
竣工年：2021年
建築地：福岡市中央区

構造：鉄骨造
規模：6階



▶株式会社平助筆復古堂様のご紹介

創業1501年、室町時代後期の文亀元年から、五世紀余りの歴史を刻む博多の和文具の老舗。4代目平助の時に福岡藩主より藩歴代御用筆の栄誉とともに「復古堂」の称号も与えられた。その後、当主自らの顔写真を筆軸に貼付した「平助筆」を商標とし、明治28年からは宮内省御用達の栄も賜る。現在は筆をはじめ書道用品や和紙、和洋画材を販売するほか、書道教室も運営。



地域の協力でさまざまな課題を克服！
川端商店街内に医療専門のテナントビルを竣工

TAC MEDICAL BUILDING

福岡市博多区にある川端商店街で今年5月、TACメディカルビルが竣工を迎えた。当ビルは医療サービスの提供に特化したビル。地域住民の方はもちろん、都心部で働く子育て世代とその子どもたちの地域医療の受け皿になりたいという、オーナー吉田周末（ひろみ）氏の思いからプロジェクトがスタートした。

吉田氏は不動産事業を手掛ける株式会社TAC貴貴1（タックヨシキワン）の代表取締役を務めるほか、人材紹介事業も手掛ける経営者。現場では育児をしながら働くお母さんたちの声を聞く機会も多く、日頃から子育て世帯向けの地域医療の必要性を痛感していた。「子どもを育てるお母さんたちが安心して働ける環境を作りたい」と、私が20年来思い



(株)TAC貴貴1 代表取締役 吉田 周末氏

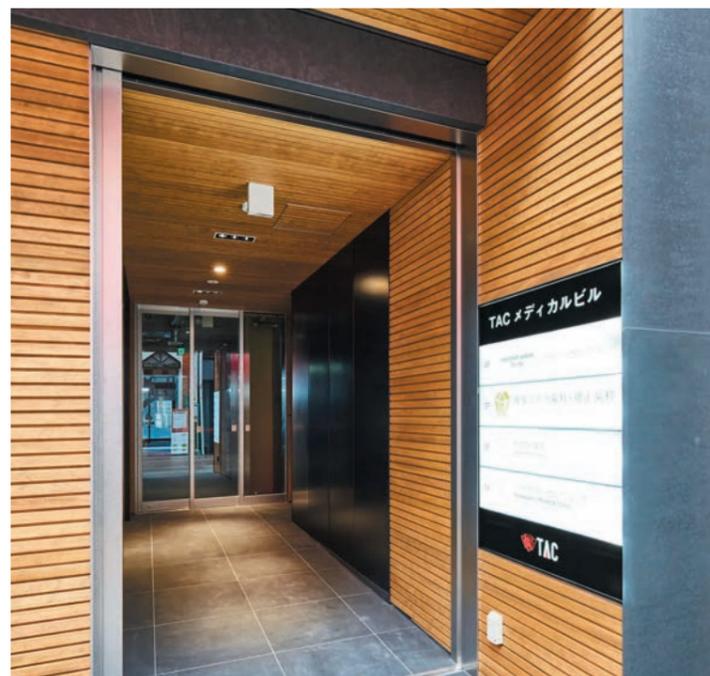
描いてきたビジョンです。その思いを有澤建設さんが形にしてくれました(吉田氏)。
プロジェクトが動き出したのは2018年春。自社ビルの隣地を購入する縁に恵まれたことがきっかけだった。しかし、資材搬入口として確保しなければならない計画地裏の駐車場を借りることができず計画は暗礁に。そんなとき、商店街内に直接資材を搬入する案を提示したのが有澤建設だった。「有澤建設さんは当初から熱心に複数のプランを考えていただいた上に、ここぞというときに新しいアイデアを提案してくれました。お願いするならば有澤建設さんだと思いました(吉田氏)」。

時に車両や資材の接触事故が起きないように細心の注意を払った。また、コンクリート打設工事と重機の搬入は店舗が営業する昼間の時間帯を避け夜間に計画。コンクリート打設工事では騒音が予想されたため、近隣住民の方にはホテルへの宿泊を提案し、希望者をホテルへ案内するなど対策を徹底した。「城戸さんには、工事前の商店街装飾物の取り外しから、作業後のモップ掛けまで工事以外の仕事も細やかに対応いただきました。おかげさまで大きなクレームもなく、ビルが竣工したときには近隣の方から『やつとできましたね』と喜んでもらえました(吉田氏)」。

計画から約3年をかけた完成したTACメディカルビルには現在、内科や皮膚科、小児科などを専門とする医院などが開業中。医療を通して地域の方々や働くお母さんたちの支えとなっていく。

建物概要 ◎TACメディカルビル

用途：テナントビル
竣工年：2021年
建築地：福岡市博多区
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上4階



現場からひとこと

夜間工事を伴う現場は初めての経験で、様々な課題がありましたが、所長や社員、営業担当や職人さんたちが積極的に意見を出してくれ助けられました。また、商店街の方々から工事への理解と協力をいただいたのは、日頃から地域のために尽力し、近隣の方々からの信頼が厚い吉田社長のおかげだと思います。



企画工務部
城戸 暁人

株式会社TAC貴貴1様のご紹介

2013年に「株式会社TAC貴貴」として設立、2021年に「TAC貴貴1」に名称変更。賃貸・売買の仲介や不動産管理事業を展開。グループ会社では人材紹介事業や保育園運営のほか、高齢者の福祉に関わる事業も手掛ける。

<http://www.tac21.co.jp/company.html>



4社のチームワークで困難を開
周辺物件と一線を画す1棟が竣工

ALLEM YOSHIZUKA

2021年6月、福岡市博多区に賃貸マンション「アレム吉塚」が完成した。本プロジェクトでは、東京で不動産事業を手掛けるミナトマネジメントが事業主となり、株式会社NKトラスト（以下、NKトラスト）がプロジェクトマネージャーとして参画。建築工事を担当した有澤建設と設計・工事監理を担当した株式会社サンユニオン（以下、サンユニオン）との理想的なチームワークが本件を成功へと導いた。

本プロジェクトでは、物件価値を大きく左右する設計施工業者の選定をする際、取引実績のない業者にも声をかけ、公平かつ厳しい目線でコンペが行われた。そこで他を引き離



(株)ミナトマネジメント 代表取締役 倉本 達人氏

ね、市場を読んで適正価格での運用を開始。内見した賃貸業者からは「住みたい！」という率直な評価も得て、竣工直後から人気物件となり、入居率100%を達成することができた。4社のプライドが互いを高め合い、安定的なキャッシュフローが見込める優良物件が完成した。

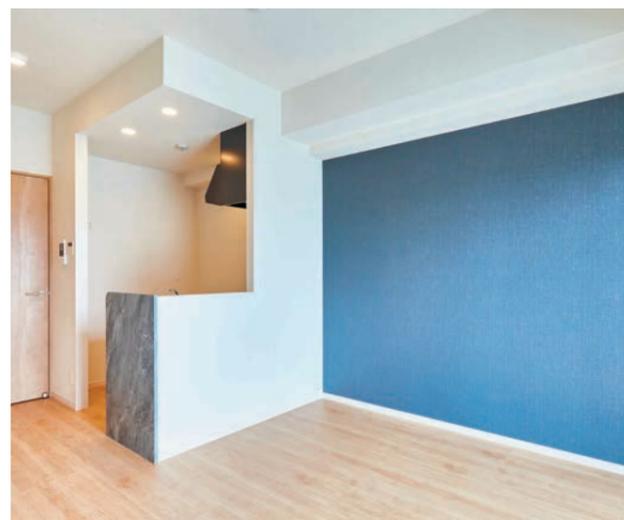
今回の案件はファイナンスから設計、施工まで一貫して福岡の地で完結させ、地産地消ビジネスの大きな成功例となった。4社のチームワークが強固なのは「地域還元の結果システム確立」という大きな目標に全員が共鳴した結果かもしれない。チームが丸となってさらに加速を続けていく「アレムプロジェクト」から今後も目が離せない。

建物概要

◎アレム吉塚

用途：共同住宅
竣工年：2021年
建築地：福岡市博多区

構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上10階



す提案を行ったのが有澤建設とサンユニオンだ。デザインとそれに伴うコストバランスが群を抜いて素晴らしい、すべてにおいて2社のタッグが優れていました（NKトラスト代表・母袋氏）。

建築業者が決まり、プロジェクトは着工までスムーズに進じたが、竣工までの道程は簡単ではなかった。まず最初のトラブルは重機や資材の搬入に伴う道路使用許可が一部下りなかったこと。この問題を解決するため、継手が可能な鋼管杭工法への変更を余儀無くされた。そんな困難の中で最も大きな問題となったのが杭基礎工事だった。地盤が予想以上に固かったため10階建に耐えうる深度まで杭が到達できず、工事は一時中断を余儀無くされてしまった。そしてサンユニオンの薦田氏と有澤建設の取締役営業部長、藤木を中心に協議を重ねた結果、最終的には必要な地点まで杭を打ち続けるという方法で難関を乗り越えた。両氏は共に「この

メンバーで仕事させていただいて本当によかった。外觀デザインをはじめ、至るところで決定を委ねていただいたのは嬉しかったです。信じてお任せいただいていたことが伝わりました」と語る。これは、ミナトマネジメント代表、倉本氏から信頼されることへのプレッシャーが、チーム全体の士気を上げた結果だろう。このプロジェクト同士の敬意と信頼が個々の能力を引き上げ、最大限のパフォーマンスを生んだ。

2021年6月、「アレム吉塚」は無事竣工を迎えた。エンタランスホールはラグジュアリーな雰囲気になり、周辺の同規模・同水準の賃貸マンションと比べるとその差は歴然。期待を超える完成度に仕上がった。とはいえ、物件が優れていても実際に運用できなければ意味がない。ここからはミナトマネジメント不動産事業担当、加藤氏の手腕がものを言う。工事中から信頼のおける賃貸業者を選定して打ち合わせを重

▶株式会社ミナトマネジメント様のご紹介

会計、税務、金融、不動産を軸にファンド投資を行うグローバル企業。アセットマネジメント事業と並行し、不動産や信託受益権の仲介、不動産コンサルティング、不動産投資も手掛ける。

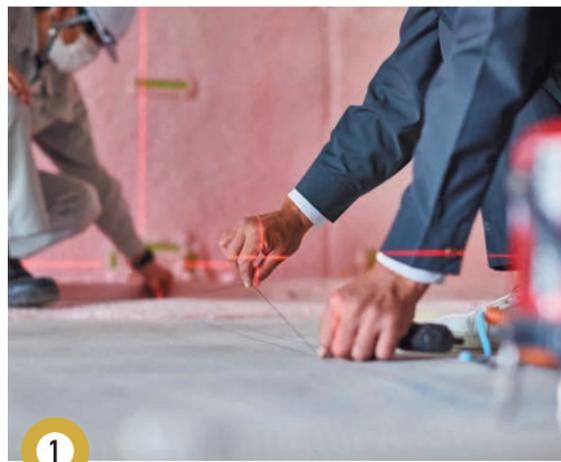
<https://minatomanagement.co.jp>



2

下地組み立て

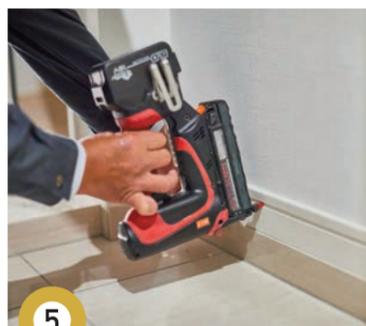
壁、床、天井の下地を組み立てる。施工の精度が内装の仕上がりにも影響するため高い技術が求められる。



1

墨出し

設計図や施工図を基に、壁の配置や寸法のベースとなる線を墨とレーザーを使って書き出す。



5

巾木（はばき）取り付け

床と壁の境目に巾木と呼ばれる横板を取り付け、掃除機の接触等による破損や汚れから壁を保護する。



4

石こうボード取り付け

定められた仕様の石こうボードを天井や壁の下地にビスで固定。



3

枠取り付け

扉などの開口部に枠を取り付けていく。枠に使う木材は、取り付けられる箇所への負荷によって1本1本強度を変えている。



1枚の図面から
部屋の品質を作り出す
木のスペシャリスト。

The スペシャリスト

熟練のワザ

【内装工事（木工事・造作）】

現場監督からひとこと



企画工務部 所長
永田 智博
1級建築施工管理技士

松中組の職人さんたちは皆、いいものを作ろうという気概にあふれています。棚板を取り付ける際も耐久性を考慮して補強を入れより頑丈にするなど、住む人の目線に立った仕事をしてくれるので本当に頼もしいです。他社の職人さんともうまくコミュニケーションを取って現場にいい雰囲気を作ってくれますので、いつも安心して部屋をお任せできます。

づくりの面白さに引き込まれていった。入社した建設会社ではめきめきと頭角を現し、まだ若いうちから戸建ての工事全体を任せられるように。初めて自分で1軒屋を建てたときの感動は、小野氏の職人の原点になっている。「棟上げのときは自分の仕事で形になったことが誇らしくもありましたが、お客さまがとても喜んでくださり、仕事を褒めていただいた感動が今も強く心に残っています。この仕事は覚えることが多く大変ですが、お客さまのリアクションはいつも仕事の原動力になります（同氏）」。

松中組と有澤建設の付き合いは半世紀以上。両社の協業がこれまで数多くの建物に結実してきた。「有澤建設さんの現場監督は皆さん真面目です。現場全体を見ながら私たちが職人の仕事に深く関わり、そこから学ぼうとする姿勢をいつも感じます。職人として仕事で応えない訳にはいきません（同氏）」。元請下請の関係に留まらない互いの信頼がこれからも有澤建設の品質を生み出していく。

設計図に書かれていることも、書かれていないこともすべて形にする。

建物の内装工事には、天井や壁、床といった室内の間取りを形作（かたちづくる）工程があり、その仕事を担うのが今回紹介する「造作大工」だ。造作大工の仕事は、コンクリート床面などに壁の寸法を墨で書き出していく作業から始まる。この作業は「墨出し」と呼ばれ、部屋の設計図を現場に落とし込んでいく作業。墨出しと設計図にわずかでも誤差があると、後の工程に影響し工期が遅れるだけでなく、商品の品質そのものに関わってくるため、常に精度さが求められる。また、職人には当然ながら木材への深い知識が欠かせない。墨出しの後に下地や枠を木材で組み上げる際は、取り付けられる箇所の負荷を考慮して、部分的に耐久性の強い木材を使用するなど、設計図では表現できないところを施工でカバーする高い専門性が必要だ。「内装工事は、すべての工事の中でお客さまに一番近い仕事です。内装の仕上がりはそのまま、お客さまの住み心地や使い勝手の良し悪しに繋がりますので、若い職人たちにはよく『自分が住みたくなる部屋を作れ』と言っています（小野氏）」。

小野氏が職人の道に入ったのは高校卒業後。大工だった父の仕事の幼い頃から間近で見ていた小野氏は自然と物



株式会社松中組
代表取締役
小野 義孝氏

九州各県で営業を展開。木造家屋や共同住宅内装の他、リフォーム、店舗工事など、木工事を中心にジャンルを問わず幅広くカバーする。

このコーナーでは有澤建設の建設現場を影で支える様々なスペシャリストを紹介。第八回目のテーマは、建物居室の天井や壁、床を作る「内装工事」。今回は株式会社松中組の代表取締役、小野氏の仕事に迫る。

坂本工業蒲田処理センター
材質や混入物の有無で分別

坂本工業新宮リサイクルセンター
軟質系プラスチックを含む混合廃棄物(建設系廃棄物)をリサイクル



搬入されたプラスチック、木くずなど可燃系廃棄物を選別後、破砕機に投入



破砕された廃材を圧縮梱包機に投入



圧縮後の廃材

圧縮された廃材はセメント等を作る際の燃料としてサマールリサイクルされる。さらにその焼却灰はセメントの原料としてマテリアルリサイクルされる。

サマールリサイクル用に選別された廃材はセメント等を作る際の燃料として再利用。

硬質系廃プラスチックをリサイクル



三角コーンや養生材、管やクランプなどの建設資材は、細かく破砕して再利用



搬入後、リサイクル処理しやすいように、重機で破砕



破砕機でさらに細かく破砕した後、水洗浄選別機でマテリアルリサイクル用とサマールリサイクル用に選別



マテリアルリサイクル用の廃材はペレット加工機に投入され、約220度の熱を加えて溶融



冷やして固まらせた廃材は細かく断裁され、ペレットとなる



ペレットは主に中国へ輸出され、再びプラスチック製品(玩具、車のバンパー等)に加工される

ポイント



分別が困難でリサイクルできない場合、単純焼却や埋立用の廃材となつてしまいます。つまり、建設現場でできる限り分別しておくことが大切です。

リサイクル業者様からのメッセージ



株式会社坂本工業 新宮リサイクルセンター センター長 齋藤 龍也氏(左)、蒲田処理センター センター長 尾方 亮一氏(右)

株式会社坂本工業様の紹介

産廃物処理や建造物解体工事を手掛ける総合環境企業。昭和53年の創業以来、地球環境の課題に引き合い産廃物の資源活用を推進。福岡県内4箇所に産廃物処理施設やリサイクル施設を持つ。

「安心を子どもたちへ、やさしさを地球へ。」を私たちの合言葉に、未来へハトンをつなぐ企業として、産業廃棄物を「廃棄物」として捉えず「資源」と考え、私たちの技術と経験を活かし選別を行っております。また、企業としてSDGsの大義である社会へ善を為す気持ちを常に持ち、日々努力を続けて参りたいと考えております。

建設現場で分別された廃プラスチック
その先の **リサイクル現場** をレポート



ポイント

プラスチックの分別をしつかり行うと、再利用される割合が減り、リサイクル率がアップします。



用語解説

【サマールリサイクル】廃棄物処理時に発生する熱をエネルギーとして回収して利用するリサイクル手法
【マテリアルリサイクル】処理した廃棄物を新しい製品の原料として再利用するリサイクル手法

建設業界におけるプラスチック
廃材分別の有無に伴うリサイクル率の違い

現場で分別された廃プラスチック類 総排出量 約49.2万トン			現場で分別されなかった混合廃棄物 総排出量 約228.4万トン		
マテリアルリサイクル 再生プラスチック 製品原材料等	24.9万トン 50.6%	最終処分 単純焼却・埋立 13.8万トン 28.0%	マテリアルリサイクル 再生プラスチック 製品原材料等	115.1万トン 50.4%	最終処分 単純焼却・埋立 84万トン 36.8%
縮減等	19.5万トン 21.3%		縮減等	29.3万トン 12.8%	

参考：国土交通省「H30年度建設副産物実態調査結果」より

建設会社が取組むべき廃プラスチックの分別
現在、有澤建設が取り組んでいる廃プラスチックの分別作業は、社内のSDGs支援の取り組みの中で生まれたプロジェクト。地球規模の気候変動や環境汚染に大きな影響があると考えられているプラスチックのリサイクルに着目したことで生まれたアイデアです。建設現場で廃材を分別することで、リサイクル率を上げ、ゴミとして扱われていた物を資源にすることが出来ます。
今回は、社内SDGs支援の取り組みの一環として、建設現場で分別された廃プラスチックのリサイクル現場をレポートします。

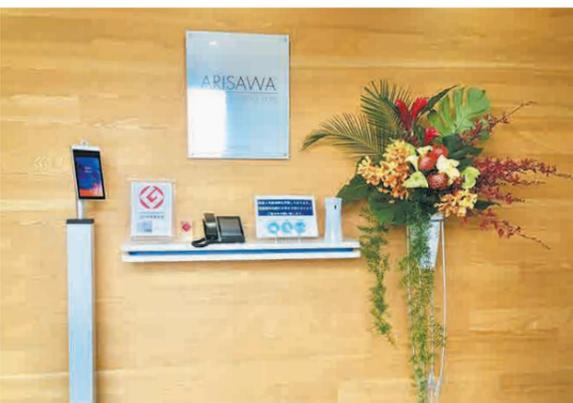
有澤建設で最近話題になった様々な出来事をご紹介します。

01

玄関受付のお花



が和み、明るく温かい気持ちになります。これらの生花は総務部が毎週交代で担当しており、「今回はこういう色味にしたい」「こんなお花を入れたい」などご来社頂くお客様へおもてなしの気持ちを込めて選んでいます。弊社へお越しの際には少しでも季節を感じ、明るい気持ちになつて頂けたら幸いです。



弊社の本社社屋にご来社頂いた方は既にお気づきかと思いますが、有澤建設では今年に入り玄関の受付に生花を飾っております。玄関に歩入ると季節のお花が皆さまをお出迎え致します。シンプルだった玄関が色鮮やかなお花で明るく華やかになりました。花を愛でるといふ言葉があるように花々を見ると心に

02

新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスのワクチン接種をした社員の様子を紹介します!



新型コロナウイルスの威力が治まりませんが、先日、かかりつけの病院で2回目の新型コロナウイルスワクチンを接種したときのことをレポートします。今回は前回より少し緊張して病院へ。というのも2回目は1回目より副反応が多く出るといわれているからです。念のため、前日は早め就寝して規則正しく過ごしました。ちなみに、1回目は発熱、全身倦怠感なく、注射部位の左肩の鈍痛程度で痛み止めも飲まず、2日自然軽快しました。さて今回も問診後、いざ左肩を出して注射。左肩の理由は、右利きなので生活に支障が出ないようにするためです。注射時の痛みは皮下注射のインフルエンザワクチンよりも少なく、注入時もほぼ無痛。接種後、院内で30分間安静にしましたが、まったく著変なく30分が過ぎ通常勤務へ。勤務中は「さあ夜から熱が出るかな、だるくなるかな」と思いながら過ごしました。夜にかけて、前回同様に

接種部位が重く感じ、鈍痛が出ました。夜は副反応にややドキドキしていたせいか、いつもより睡眠時間が短くなりました。翌日もほとんど気にならないうらい腕の鈍痛だけでしたが、仕事に支障が出ないよう念のため解熱剤を飲んで出勤。全身倦怠感なし。熱なし。むしろ、身構えていたせいか拍子抜けです。翌々日も同様、その次の日には腕の鈍痛は軽快。熱なし。だるさなし。総じて1回目接種とほぼ変わりなく経過しました。

解熱剤の予防内服のおかげか、性格が鈍感なのか、心配しすぎなのか、とにかくも通りに業務でき、ワクチンの副反応の個人差を実感しました。今後、ワクチン普及が進むと、適切な予防方法などが明らかになってくると思いますが、正しいワクチンの啓発活動と新型コロナウイルスの終息を願います。



有澤建設のブログも要チェック!



EV電気スタンドを取り巻く現状

国内での電気自動車(EV)の普及率はまだまだ低いものの、全国的に急増している電気自動車の充電スポットとなる「EV電気スタンド」。最近では、コンビニやスーパー、デパートなど日常的によく利用する場所だけでなく、カーディーラー、宿泊施設、道の駅、SA・PAなどにも充電器が設置されるようになり、これまで課題になっていた充電スポットのインフラ整備の遅れは解消されつつあります。2038年には世界の新車台数の50%以上が、2050年までには約90%が電気自動車にシフトすることが予想されています。



※画像はイメージです

社内のSDGsの取り組みから生まれたアイデアをマンションの設備に提案
マンションなどの住宅設備において、環境に過度な配慮をした場合、反比例して居住性や利便性が低下する恐れがありますが、物件としての価値を損なわず、むしろ付加価値を得られる環境配慮設備として今回、「電気スタンド」を提案しました。今年7月、欧州でガソリ

国内自動車メーカーのEVをめぐる動き

- ホンダ
2040年までに販売する車をEVおよび燃料電池車(FCV)にするという目標を発表
- 日産
2030年代早期に主力市場で販売する新型車をすべてEVやハイブリッド車(HV)などの電動車に切り替えると発表
- トヨタ
2030年にEVとFCVが約200万台、HVとPHVが約600万台の販売目標を想定と発表

ン自動車の新車販売禁止の方針が出されるなど、「持続可能な開発目標(SDGs)」に基づく国際的な各種施策を受け、今後、電気自動車が世界的にも普及が加速していくであろう情勢を鑑みて、自社建売物件である(仮称)山王1丁目マンション新築工事にて試験的に導入を提案。オーナーさまにも大方の賛同をいただき、正式に設置が決定しました。

EV電気スタンド設置のメリット

- 1 電気自動車をお持ちの方や、今後購入予定のある方にとって、EV充電器のある物件はまだ希少で、大変魅力的に映ります。そのため、新規入居者増加が期待できます。
- 2 EV充電器を設置することで、建物の不動産価値上昇の効果が期待できます。
- 3 環境に配慮した事業経営ができます。また、停電時にも電力供給できるシステムを採用すれば、地域貢献にもつながります。

本提案にあたっては、物件担当の企画営業部次長、森安と設計会社にてSDGsへの取り組みと物件価値向上の両立を図ることのできるものは何か?を主題にして検討協議を重ねつつ、協力業者や取引先へのヒアリング、建設新聞、業界雑誌などの建設業界関連メディアからの情報収集を実施。その結果、このたびの電気スタンドの提案へつながりました。



福岡市博多区山王
EV電気スタンド設置プロジェクト

2021年より本格的にスタートした有澤建設のSDGs活動。社員が自分たちができることは何かを考え実行する取り組みが、商品として形になりました。